様式２

令和４年度　中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）　該当教員自己評価表

氏 名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評　　価 | | | [４]十分できている | [３]おおむねできている | [２]あまりできていない | | [１]できていない | |
|  | | | | | | | | |
| 評 価 項 目 | | | 評　価　に　当　た　っ　て　の　考　慮　事　項 | | | 評価 | | 総合評価 |
| 素養 | 教育的愛情使命感 | | ①教員のもつ社会的役割を理解し、子どもの成長のために教育に携わる意欲がある。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |
| ②学校教育を牽引するために、教員として幅広い教養を備え、人間的魅力を高めるように行動している。 | | | ４・３・２・１ | |
| ③子ども一人一人の個性を大切にし、子どもたちが夢や希望をもてる教育を行っている。 | | | ４・３・２・１ | |
| 倫理観  人間性  社会性 | | ①教育公務員としての自覚の下に、服務規律を遵守し、規範意識をもって職務に専念している。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |
| ②子どもに関する人権・多様性を認めることの必要性を理解している。 | | | ４・３・２・１ | |
| ③子どもとの関わりの中で、偏見や差別につながる言動を察知し、どの子どもにも偏見や差別にとらわれることなく接している。 | | | ４・３・２・１ | |
| コミュニケー  ション力 | | ①報告や相談をするときに客観的な事実や同僚の思いを踏まえて、自分の意見や方針を述べている。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |
| ②話合いの場において、協働体制を築くことができるような提案をすることができる。 | | | ４・３・２・１ | |
| 学び続ける力  探究心 | | ①保健室経営、保健に関する指導、生徒指導に関する課題を見いだしている。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |
| ②見いだした課題について、文献を読んだり、職場内外の教員と協働したりして解決しようとしている。 | | | ４・３・２・１ | |
| ③課題解決したことについて、客観的な事実や考察に基づいた成果と課題を明確にして記録している。 | | | ４・３・２・１ | |
| ④力量形成に向けて、研究会や大学講座等の場で、自分の実践を発表したり、質問したりするなどして学びを深めている。 | | | ４・３・２・１ | |
| ⑤若手教員に対して、悩みや困ったことの相談にのるなど積極的に関わっている。 | | | ４・３・２・１ | |
| 指導力 | 養護  教  諭  の  専  門  性 | 保健  管理 | ①児童生徒の心身の健康の実態を把握するとともに、解決に向けて実践している。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |
| ②健康観察の進め方、救急体制の整備、感染症の対応等について、校内で共通理解を図っている。 | | | ４・３・２・１ | |
| ③教職員および学校三師と連携し、児童生徒の疾病の予防と管理や学校環境衛生活動等を行っている。 | | | ４・３・２・１ | |
| 保健  教育 | ①保健教育計画のもと、児童生徒の実態に対応した健康教育を実施している。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |
| ②心身の健康に課題を持つ児童生徒への個別指導を行っている。 | | | ４・３・２・１ | |
| ③校内の連携や外部講師の登用等、コーディネーターの役割を果たすとともに、実践に基づいた評価、改善を行っている。 | | | ４・３・２・１ | |
| 健康相談 | ①養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かし、健康相談を効果的に進めている。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |
| ②事例研究会等において、専門的な立場から児童生徒を支援し、組織的に対応している。 | | | ４・３・２・１ | |
| ③校内や関係機関等と連携し、校内外の支援体制の充実に努めている。 | | | ４・３・２・１ | |
| 保健組織活動 | ①学校保健計画のもと、保健組織活動を、組織的計画的に実施している。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |
| ②保健主事とともに学校保健委員会を組織的に実施し、適切に評価、改善を図っている。 | | | ４・３・２・１ | |
| 保健室経営 | ①児童生徒の健康課題に対応した保健室経営計画を立案し、保健室経営を行っている。 | | | ４・３・２・１ | | ４・３・２・１ |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評 価 項 目 | | | 評　価　に　当　た　っ　て　の　考　慮　事　項 | 評価 | 総合評価 |
| 指導力 | 生  徒  指  導 | 児童・生徒  理解 | ①学級・学年・学校の子どもたちを、心身の特性や生活環境、交友関係などから多面的に理解することができる。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②子ども一人一人の特性を適切に理解し、個々の特性が集団の中で活かされるように指導や支援を行うことができる。 | ４・３・２・１ |
| ③子どもに公正かつ公平な態度で接している。 | ４・３・２・１ |
| ④子どもに受容的、共感的に関わりながら思いを引き出している。 | ４・３・２・１ |
| 問題行動への対応 | ①学年などの集団の状況を的確に把握し、学年間で共通理解を図りながら、開発的・予防的・問題解決的な生徒指導をすることができる。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②学年の生徒指導の方針や具体的な指導方法について提案することができる。 | ４・３・２・１ |
| ③若手教員等に、開発的・予防的・問題解決的な生徒指導の在り方を助言することができる。 | ４・３・２・１ |
| ④家庭との連携を密にし、子どもの様子を共有して保護者との信頼関係を構築し、必要に応じて外部機関と連携し指導している。 | ４・３・２・１ |
| 特別な配慮を要する児童生徒への対応 | ①子どもの個性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援を理解し、特別な配慮を要する児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、それに応じた適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うことができる。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②学級・学年集団の実情を把握し、特別な配慮を要する児童・生徒を中心としたよりよい人間関係づくりや集団づくりへの指導・支援について、積極的に関わることができる。 | ４・３・２・１ |
| ③特別な配慮を要する児童・生徒について、校内での連絡・調整や他機関との連携を図り、合理的配慮に基づいた合意形成を踏まえて個別の教育支援計画を策定して指導・支援を行うことができる。 | ４・３・２・１ |
| マネジメント  ･人材育成 | 業務改善  （働き方改革に向けて） | | ①自分や同僚のスケジュール管理に努め、職務のさらなる効率化を図ったり、余暇を生み出したりすることができる。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②校務分掌や学年活動における会議や行事を精査・精選し、働き方改革に向けた提案と実践ができる。 | ４・３・２・１ |
| 社会の変化  への対応 | | ①常に社会や時代の要請を的確に把握し、自校の問題点、課題等を明確にしている。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②学校経営方針に基づき、自校の課題について改善策を示すなど、学校運営の改善に努めている。 | ４・３・２・１ |
| ③教育の動向を踏まえ、新たな教育課題への対応策を探り、実施することができる。 | ４・３・２・１ |
| 学校安全  危機管理 | | ①普段とは違う変化を教職員で共有し、管理職や同僚と連携して安全に配慮した行動をとることができる。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②危機が起きたときに正確な事実に基づいて、保護者・関係機関との連携・調整を円滑に行い、再発防止に向けて迅速に取り組むことができる。 | ４・３・２・１ |
| 人材育成 | | 1. ОＪＴを意識し、若手教員に対して具体的で適切な助言を行うことができる。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②同僚等と互いの悩みや課題について相談し、支え合う風土づくりに努めることができる。 | ４・３・２・１ |
| 連　携  ・  協働 | 組織に  おける協働 | | ①ミドルリーダーとして、若手や同僚に助言しながら、リーダーシップを発揮して機能的な組織づくりを推進している。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②学校教育目標の達成に向けて、一人一人の教員の強み・弱みを踏まえ、組織全体の特色を活かした協働的な組織づくりを進めている。 | ４・３・２・１ |
| 家庭や地域社会との  連携 | | ①家庭や地域、関係機関と積極的に連携し、関わりを深めている。 | ４・３・２・１ | ４・３・２・１ |
| ②学年や学校への理解を促すために、家庭や地域へ積極的に情報を発信したり情報を収集したりして、信頼関係を構築している。 | ４・３・２・１ |